

2004年4月26日
株式会社ウィッツ
<http://www.witz-inc.co.jp/>

OSEK仕様に準拠したリアルタイムOSの開発に成功
～ 総合的なサポートも開始 ～

株式会社ウィッツは、名古屋大学大学院情報科学研究科組込みリアルタイムシステム研究室（高田・富山研究室）と共同で、名古屋市工業研究所とルネサステクノロジなどの協力を得て OSEK/VDX OS 仕様に準拠したリアルタイム OS を開発しました。

開発したリアルタイム OS は、TOPPERS プロジェクトの開発成果物としてコントリビューートし、オープンソースソフトウェアとして一般に配付します。同時に、開発したリアルタイム OS の総合的なサポート事業も開始します。

この度開発したのは、OSEK/VDX OS 仕様（Version 2.2.1）に準拠したリアルタイム OS と、OIL 仕様（Version 2.4.1）に準拠したコンフィギュレーションツールです。現時点では、コンフォーマンスクラス ECC2 に準拠した OS の開発が完了しておりますが、他のコンフォーマンスクラスに対応したカーネルも開発中です。

また、現時点での対応プロセッサはルネサステクノロジの M32C ですが、M16C および H8S などのプロセッサへの対応も進めております。

また、OSEK/VDX プロジェクトにおいて策定されている他仕様に準拠したソフトウェア開発も計画しております。

開発したリアルタイム OS は、6月3日と4日の両日に開催する TOPPERS カンファレンスの時期を目処に、TOPPERS プロジェクト会員限定の早期リリースとして配付を開始いたします。また、7月7日～9日に開催される組込みシステム開発技術展（ESEC）において、開発したリアルタイム OS、各コンフォーマンスクラスに対応したリアルタイム OS およびこの OS 上にて稼動するネットワークミドルウェアを用いた簡単な通信デモを行います。

更に準備が整えば、デモに用いた各種ソフトウェアの配付を開始する予定です。

株式会社ウィッツ 代表取締役 安場尚一 のコメント

人々にとって、より便利にかつ安全であり、さらに環境に優れた性能を有するツールは、現代の社会に必須不可欠であると考えます。これらを解決する礎として組込みソフトウェアは目に見えないところで貢献しております。しかし、要求される事項が複雑かつ高度となり、いままで必要とされなかった部品にまでソフトウェアは必要とされ始めているため、ソフトウェア開発者への負担が非常に高くなっております。これらの問題を解決するために TOPPERS プロジェクトは、優秀な基本となるソフトウェアをオープンソースとして公開し、開発および教育など多岐に渡り貢献しております。弊社もこの活動に賛同し、今回開発した自動車向けリアルタイム OS を TOPPERS プロジェクトから公開し、自動車業界ばかりではなく組込み制御業界でのソフトウェア開発に活用していただき、地域の産業活性や技術の蓄積などを模索し活動して行きたいと考えます。今後も、名古屋大学を始めとする開発グループで協力し、次世代を見据えたソフトウェアを開発してまいります。